

## 現地体験（現地）

21014036 菅家新治

私は韓国の地で食文化を通し様々な体験をしました。まず私が驚いたことは、どこで食事をしていても必ずと言っていいほどキムチが出てきたことです。留学に行く前から韓国でキムチが人気であることは知っていましたが、日本でいうところの漬け物やたくわんのようなものであると考えていました。しかし韓国に行ってみるとキムチは日本の漬け物とはまったく性質のことなるものでした。韓国においてキムチはまさにソウルフードと呼べるものでありました。外のお店に行けばイタリアンなどでない限り必ずと言っていいほど出てくるのですが、なにより驚いたのは大学の学生食堂にもセルフサービスという形で必ず用意されていたことです。日本では学生食堂に漬け物が常備されていることはありません。日本には韓国におけるキムチの位置にあたるものがあるのかとても疑問に思いました。韓国の人にとってキムチは絶対に欠かすことのできない食べ物であることがわかりました。留学中に習ったところによるとキムチは 100 種類以上あるそうです。まさにキムチは韓国の食文化の大きな特徴であり、キムチなくして韓国の食文化は語れません。また韓国には食堂だけでなく、ピザ屋さんやフライドチキンのお店がたくさんありました。お店の数は日本とは比べものにならず、また値段もとても安かったのでこれも驚きました。韓国ではフライドチキンがとても人気があり 1 人で一羽食べる若者も多いと聞きました。注文の時も一羽分か半羽分かで注文をとっているお店もたくさんありました。韓国ではお店で注文するだけでなく電話で頼むこともできます。日本にもピザのデリバリーサービスはありますが、韓国ではフライドチキンもデリバリーサービスで頼むことができます。もはやフライドチキンはジャージャー麺と並ぶ韓国のソウルフードと呼べるものであると思います。韓国は外で食事をするならとても魅力的な国だとおもいました。そんな中で私が韓国で食事する上で困ったことは、日本で言うところのスーパーがないことでした。デパートの中に大きいスーパーマーケットは入っているのですが、値段が決して安くはなく量も家族用といった感じで 2 人で消費するには多すぎて賞味期限が間に合わないなどということがありました。お惣菜やお弁当なども日本より高いことにも驚きました。お菓子や乳製品も基本的に 100 円以内で買えないので、留学中はほとんどお菓子と乳製品は買いませんでした。スーパーなどの施設は日本の方が便利であると感じました。韓国ではスーパーマーケットとコンビニの商品の値段がほとんど変わらず、むしろコンビニのほうが安い商品もいくつかありました。そういうこともあり留学中はほとんど外食かインスタントラーメンを食べていました。韓国は 1 人で生活していると最近物価が上昇してきたこともあ

り苦勞する部分もたくさんあると思いますが、人数が多ければ多いほど安く食べられるお店がたくさんあります。これは食事を 1 人で摂るのではなく、皆で共有しながら食べるという韓国の食事に対する考え方を体現しているものであると感じました。今回の留学を通して韓国の食文化について多くのことを学ぶことができました。それと同時に日本に暮らしながらも日本の文化について全く知らない自分を痛感し、日本の文化についてもっと深く学ぼうと思いました。